

豊前市水道事業経営戦略

団 体 名 : 豊前市

事 業 名 : 豊前市水道事業

策 定 日 : 平成 31 年 3 月

計 画 期 間 : 平成 31 年度 ~ 平成 40 年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 給 水

供用開始年月日	昭和13年8月1日	計画給水人口	22,290 人
法適(全部・財務) ・非適の区分	法適(全部)	現在給水人口	18,066 人
		有収水量密度	0.998 千m ³ /ha

② 施 設

水 源	<input type="checkbox"/> 表流水, <input type="checkbox"/> ダム, <input type="checkbox"/> 伏流水, <input checked="" type="checkbox"/> 地下水, <input checked="" type="checkbox"/> 受水, <input type="checkbox"/> その他 (複数選択可)		
施 設 数	浄水場設置数	0	管 路 延 長 174.77 千m
	配水池設置数	5	
施 設 能 力	8,780 m ³ /日	施 設 利 用 率	64.8 %

③ 料 金

料金体系の 概要・考え方	用途別の水道料金に、口径別のメーター使用料を合算して算出しています。			
	水道料金 (税別)			
	種別	用途	基本料金	超過料金 (1m ³ あたり)
			水量	料金
専用栓	家事用	8m ³	1,350円	230円
	営業団体用	8m ³	1,450円	260円
	工場用	100m ³	25,700円	290円
	臨時用	10m ³	3,000円	350円
	船舶用	1m ³	500円	500円
共用栓	共用	10m ³	1,000円	120円
消火栓	演習用	1栓1回15分間につき		3,500円
メーター使用料 (税別)				
口径	1ヶ月当たり料金 (1個につき)	口径	1ヶ月当たり料金 (1個につき)	
13ミリメートル	50円	50ミリメートル	800円	
20ミリメートル	90円	75ミリメートル	1,350円	
25ミリメートル	120円	100ミリメートル	1,800円	
40ミリメートル	300円	150ミリメートル	2,600円	
料金改定年月日 (消費税のみの改定 は含まない)	平成13年10月1日			

④ 組織

上下水道課9名で水道事業、公共下水道事業、工業用水道事業を運営しており、そのうち水道事業に3名を配置しています。

(2) これまでの主な経営健全化の取組

平成22年度より、検針・収納等業務について民間委託しています。
平成29年7月より人件費削減のため職員1名を減らしています。

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

別紙参照

2. 将来の事業環境

(1) 給水人口の予測

平成29年度までの実績を見ると、給水人口は徐々に増加していますが、市全体の人口が減少しているため、平成30年度をピークに年間50人程度の割合で減少していく見込です。

(2) 水需要の予測

H31年度に新たな施設や発電所等の稼働に伴う需要の増加があるため、H32年度までは需要は増加する見込ですが、その後は給水人口の減少や節水機器の普及等により水需要は減少していく見込です。

(3) 料金収入の見通し

水需要の増加に伴い平成32年度までは増加する見込ですが、その後は減少に転じる見込です。

(4) 施設の見通し

平成31年度より伊良原ダムの完成に伴い、京築地区水道企業団からの浄水受水量が増大するため、現在稼働している井戸施設の見直しを行う予定です。管路については、老朽管更新事業を引き続き行い、耐震化を含めて計画的に更新していく予定です。

(5) 組織の見通し

今後も現行の体制を維持していく予定です。

3. 経営の基本方針

豊前市水道ビジョンに位置づけている「運営基盤の強化と安定した水道水の供給」という将来像に基づき、以下の目標を設定しています。

1. 安全でおいしい水の供給
2. 水道水の安定的な供給
3. 健全な事業運営
4. 環境にやさしい水道

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

建設改良費は主に老朽管の更新を見込んでおり、H32年度に第8期拡張事業が完了の見込みです。

② 収支計画のうち財源についての説明

建設改良費の財源は、企業債の借入の他に、国庫補助金や一般会計出資金の対象となるものはこれを見込み、下水道工事等に伴うものは他会計からの工事負担金を見込んでいます。
収益的収入のうち、一般会計補助金を職員給与費や企業債償還利息に充当します。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

・動力費については、平成31年度以降、伊良原ダム完成に伴う京築地区水道企業団からの受水量増加に伴い、現在使用中の井戸の動力費が減少する見込です。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 投資について検討状況等

民間の資金・ノウハウ等の活用 (PFI・DBOの導入等)	現在、検針・収納業務及び配水場運転管理業務について民間委託していますが、民間委託のさらなる導入拡大について検討していきます。
施設・設備の廃止・統合 (ダウンサイジング)	伊良原ダム完成に伴う京築地区水道企業団からの受水量の増加に伴い、現在稼働している井戸の廃止や合理化を検討しています。
施設・設備の合理化 (スペックダウン)	
施設・設備の長寿命化等の 投資の平準化	管路更新を計画的に行います。
広域化	福岡県及び北九州都市圏域における水道事業者の勉強会に参加し、さまざまな角度から検討を行っています。
その他の取組	—

② 財源について検討状況等

料 金	現金不足が発生する場合に水道料金の見直しを検討します。
企 業 債	管路更新事業に必要な投資資金の確保のために必要な借入れを行います。
繰 入 金	経営状況を見ながら一般会計部局と協議し、繰入れを行います。
資産の有効活用等(*2)による 収入増加の取組	現在遊休資産の貸付を行っており、今後も継続して行っています。
その他の取組	—

③ 投資以外の経費についての検討状況等

委 託 料	現在、検針・収納業務及び配水場運転管理業務、開閉栓業務等について委託しています。 今後も継続して行っています。
修 繕 費	主に管路の漏水修繕や量水器の取替え等を見込んでいます。今後も平準化して修繕を行っていきます。
動 力 費	伊良原ダム完成に伴う京築地区水道企業団からの受水量の増加に伴い、現在稼働している井戸の動力費が下がる見込みです。 また、第2電力について積極的な活用を行い、動力費の削減につとめます。
職 員 給 与 費	必要最低限の人員で運営を行います。
そ の 他 の 取 組	京築地区水道企業団からの受水の適正量について、検討を行います。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	本経営戦略は平成31年度から平成40年度までの10年間に取り組むべき施策を示したものです。 進捗管理を行い、PDCAサイクルに基づく事後検証及び更新を行っていきます。
---------------------	--